

# 若冲と近世絵画



相国寺承天閣美術館

【Ⅰ期】 二〇二二年四月二十九日(木・祝)～七月二十五日(日)  
【Ⅱ期】 二〇二二年八月一日(日)～十月二十四日(日)



积迦三尊像 三幅のうち 积迦如来像 伊藤若冲画 相国寺藏

# 若冲と近世絵画

## 概要

十八世紀の京都では、多くの絵師たちがその腕を振るいました。今回は相国寺と深いかかわりのある京の絵師たちの絵画を中心に展示を行います。

第一章では伊藤若冲の「釈迦三尊像」などの作品を通じ、相国寺の僧侶と絵師達の交流の軌跡を追います。特に京都市中の大部分を焼き尽くし、京都に大きな爪痕を残した天明の大火（一七八八年）関連の資料と、その後に再建された相国寺方丈を彩った、原在中による杉戸絵もご披露いたします。相国寺僧と京絵師たちの災害からの復興に向けた軌跡をご覧ください。

さらに第三章には相国寺派寺院を彩ってきた絵師達の個性あふれる名品のうち、鹿苑寺からは伊藤若冲の重要文化財、鹿苑寺大書院障壁画五十面を、そして慈照寺からは与謝蕪村の描いた方丈上官之間の障壁画「山水人物図」をご披露いたします。また、池大雅や円山応挙など、十八世紀の京都画壇を彩る絵師達の画技もあわせてご覧いただきます。

相国寺、鹿苑寺（金閣寺）と慈照寺（銀閣寺）を代表する近世障壁画を中心に、寺院空間を彩る十八世紀の作品群をお楽しみください。

## 第一章

### 伊藤若冲と相国寺

梅莊顕常（大典禅師）と伊藤若冲の親交は相国寺派寺院に伝来する多くの作品からうかがえます。

〔主要展示作品〕

釈迦三尊像 三幅のうち 伊藤若冲筆 相国寺蔵  
鳳凰図 伊藤若冲筆 相国寺蔵  
龍王図 維明周奎筆 梅莊顕常賛 相国寺蔵



1

## 第二章

### 天明の大火とその復興

天明の大火（一七八八年）によって伽藍の大部分が灰燼に帰した相国寺。相国寺の伽藍再建は、当時の絵師達の活躍の場ともなりました。

〔主要展示作品〕

宝勝如来普庵禅師像 原在正筆 梅莊顕常賛 相国寺蔵  
相国寺方丈杉戸絵 原在中筆 三十六面のうち 相国寺蔵（画像2）



2

### 第三章

## 金閣寺、銀閣寺の障壁画

北山の鹿苑寺金閣、東山の慈照寺銀閣の襖絵にも十八世紀の京の町絵師たちの画技がさえわたります。

〔主要展示作品〕

重要文化財 鹿苑寺大書院障壁画五十面のうち 伊藤若冲筆 鹿苑寺蔵 (画像3)  
慈照寺方丈障壁画のうち 山水人物図 与謝蕪村筆 慈照寺蔵



3

### 第四章

## 十八世紀の京都画壇の名宝

円山応挙も慈照寺銀閣へ仏画を奉納するなど、その交流がうかがえます。

〔主要展示作品〕

重要文化財 大瀑布図 円山応挙筆 相国寺蔵 I期 (画像4)  
重要文化財 牡丹孔雀図 円山応挙筆 相国寺蔵 II期



4

## 伊藤若冲が相国寺へ寄進した釈迦三尊像を展示

相国寺と若冲の縁は深く、それを象徴する作品がこの「釈迦三尊像」です。明和二年（一七六五）九月二十九日、五十歳の伊藤若冲は相国寺へ釈迦三尊像と動植綵絵を寄進しました。そして同年十二月には相国寺と死後の永代供養の契約を交わし、翌明和三年（一七六六）、相国寺の梅莊顕常（大典禅師）の撰文による生前墓を相国寺松鷗庵に建立したのです。

動植綵絵は明治二十二年（一八八九）、廃仏毀釈の煽りを受けて困窮した相国寺が皇室へ献上し、現在は宮内庁が所蔵しています。相国寺はこの時に下賜されたお金で寺域を買い戻し、現在に至ります。相国寺承天閣美術館の第一展示室は、釈迦三尊像と動植綵絵を展示することを想定して設計されており、相国寺における若冲の存在感は今なお増すばかりなのです。



## イベント情報

【I期イベント】 場所 当館講堂(開場 13:30) ※各イベントには当日の拝観券が必要です ※各回定員 当日先着40名

5月1日(土)	14:00～14:30	スライドトーク 本多潤子(当館学芸員)
5月2日(日)	14:00～15:30	講座「相国寺の十八世紀」本多潤子(当館学芸員)
5月3日(月・祝)	14:00～15:00	相国寺承天閣美術館和尚による講話
5月4日(火・祝)	14:00～15:30	講座「相国寺の十八世紀」本多潤子(当館学芸員)
5月5日(水・祝)	14:00～15:00	相国寺承天閣美術館和尚による講話
5月15日(土)	14:00～15:00	相国寺承天閣美術館和尚による講話
6月5日(土)	14:00～14:30	スライドトーク 本多潤子(当館学芸員)
6月19日(土)	14:00～15:00	相国寺承天閣美術館和尚による講話
7月3日(土)	14:00～14:30	スライドトーク 本多潤子(当館学芸員)
7月17日(土)	14:00～15:00	相国寺承天閣美術館和尚による講話

## 次回展

相国寺・金閣・銀閣 宝物展 禅寺の学問／相国寺の歴史と寺宝II

2021年11月23日(火・祝)～2022年1月23日(日)

【休館日】2021年12月27日(月)～2022年1月5日(水)



## 開催情報

---

会期	【I期】2021年4月29日(木・祝)～7月25日(日) 【II期】2021年8月1日(日)～10月24日(日)
開催時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
拝観料	一般800円(65歳以上・大学生600円 中高生300円 小学生200円) ※一般の方に限り、20名様以上は団体割引で各700円
主催	相国寺承天閣美術館 日本経済新聞社 京都新聞
協賛	一般財団法人萬年会 鹿苑寺 慈照寺
協力	MBS

## アクセス

---

### JR京都駅より

京都市営地下鉄 **今出川駅**下車 3番出口から徒歩8分

### 阪急電車烏丸駅より

京都市営地下鉄 **今出川駅**下車 3番出口から徒歩8分

京阪電車 **出町柳駅** 3番出口より徒歩20分、または市バス

市バス 59・201・203号系統 **同志社前**下車 徒歩6分

市バス 102号系統(洛バス) **烏丸今出川**下車 徒歩8分

---

## 相国寺承天閣美術館

SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル

TEL : 075-241-0423 WEB : <http://www.shokoku-ji.jp/>

〔報道関係者様お問い合わせ先〕

「若沖と近世絵画」広報事務局(TMオフィス内)

担当:馬場、松ヶ根、清水 TEL : 06-6231-4426 FAX : 06-6231-4440 Email : [shokokuji@tm-office.co.jp](mailto:shokokuji@tm-office.co.jp)

---